こんな滋賀にしたい！

みんなが描く 令和の夢

これからの令和の時代を作っていくのは、夢をたくさん持っている子どもたちです。そこで、令和元年度の子ども県議会議員の皆さんに、「こんな滋賀にしたいな～」「きっとこういう滋賀になっているよ」といった、自分が想像する未来を絵に描いてもらいました。

「ロボットと人々のくらし」
大辻 慈さん（守山市、小学4年生）

「次世代」
坂上 弘薫さん（近江八幡市、小学4年生）

「未来の滋賀県」
馬場 紗々乃さん（栗東市、小学5年生）

「共有できる滋賀」
川島 千奈さん（長浜市、小学5年生）

「虹色の滋賀へ」
星野 友花さん（大津市、小学6年生）

「滋賀の笑顔」
圓山 夏彩さん（大津市、小学5年生）

「ドローンで運ぶ びわこの水」
米倉 碧海さん（草津市、小学5年生）

「未来の滋賀県」
上田 蒼空さん（彦根市、小学6年生）

「都会といなかが両立する20年後の滋賀」
木下 朋花さん（草津市、小学5年生）

「滋賀のこれからの未来へ！」
山之内 輝空さん（大津市、小学6年生）

「夢へ未来へ 進もう」
沖野 知佳さん（大津市、中学1年生）

「未来の滋賀県」
山田 大悟さん（彦根市、小学6年生）

「だれでも いっしょに わになってたのしむ時代へ」
武原 愛紗さん（大津市、小学4年生）

「自然のぬくもりを大切にするくらし」
松本 陸駆さん（長浜市、小学6年生）

「湖上都市と青いびわ湖」
本田 真道さん（長浜市、中学2年生）

県ホームページ（子ども県議会）に、提出いただいたすべての絵を掲載していますので、ぜひ、ご覧ください。

滋賀県　子ども県議会　検索

明治生まれの高齢者にお話をうかがいました

「令和」への改元を記念して、知事が村瀬の江さんに、お話をうかがいました。今回、訪問した村瀬さんは108歳。移動は、シルバーカートを押しながら自分で歩く元気なおばあちゃんです。知事と対面されたときには、身振り手振りを交えながら、小学校の頃の思い出などを楽しそうにお話しされました。

令和元年9月現在、県内には「明治」から「令和」までの5つの時代を経験された方が15名おられます。

昔のことも鮮明に覚えておられて、お若い！

100歳まであっという間だった！